

創立150周年



たかおか



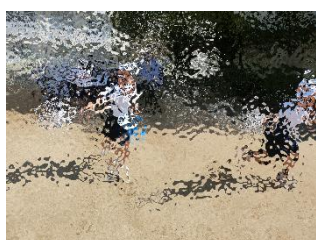
令和8年(2026年) 9月18日
姫路市立高岡小学校 学校だより
文責：梶原 伸夫 No.16

教育目標：やさしく かしこく たくましく

❖ シャボン玉飛ばし(1年生)

運動場から楽しそうな声が聞こえるので出てみると、1年生がシャボン玉飛ばしをしていました。そういえば、ストローの先にシャボン液をつけ、吹く力加減によって、大きな玉ができたり、小さな玉がたくさんできたりしたなあ、とかシャボン液の濃さをいろいろ試したなあ、間違えて吸ってしまったこともあったなあ、など昔を思い出しながら見ていました。

今回はうちわの骨を利用しました。なるほど、うちわの骨はたくさんの囲み部があるので一度にたくさんの玉ができそうです。シャボン液を付け、うちわにうまく風を受けながら走り出すと、大小さまざまなシャボン玉がいっぱいできました。子どもたちが走った後には、太陽の光を受けて虹色に光るたくさんのシャボン玉が乱舞していました。



❖ シデづくり(5・6年生)

今年度高岡小学校は創立150周年を迎え、27日(日)には記念式典が開催されます。第2部の記念行事では各自治会のご協力で、屋台練り合わせと記念撮影が予定されています(晴れますように！)。そこにひと花添えるため、15日(火)に地域の方々のご指導で5・6年生がシデづくりを体験しました。

姫路市やその周辺で行われる秋祭りなどで欠かせない、竹の棒の先にカラフルな紙を花の形のように丸く折り込んだ「シデ棒」は、一般的な紙垂と同じく「魔除け」の意味を持つほか、お祭りを華やかに盛り上げる、屋台の運行時の合図を出す、安全のため観客との距離を保つといった役割があります。また地域(町や村)ごとに赤、黄、緑、ピンク、青など独自の「イメージカラー」が決まっており、お祭りの時期になると町中がその色のシデ棒で飾り付けられます。

そして、播州で見られるあの独特な形状の「シデ棒」は、兵庫県の播磨地方(播州)とその周辺地域にほぼ特有の文化であり、他の都道府県や一般のお祭りではほとんど見られないそうです(知らなかった！)。

初めてのシデづくりに苦戦している子もいましたが、自分たちの故郷の文化に触れる貴重な体験ができたのではないかと思います。本番も楽しみです。

